



# 令和6年度 見附市立見附小学校 グランドデザイン

## 見附市 教育の基本理念

○ふるさと見附を愛する子ども ○世に役立つことを喜びとする子ども  
「見附市こども・子育て どもんなか条例」の理念に基づいた学校運営

教育目標 自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子  
年度の重点目標 「みんな大好き 自分大好き 見小大好き」  
学ぶ喜びにあふれる学校づくりのために

- わたしを認め合う学級 【絆プロ】 →「やってみよう、ありがとう、なんとかなる、ありのまま」
- 考えを磨き合う授業 【授プロ】 →考えを出し合い、認め合う「温かな学力」
- 心と体を支える環境づくり【体プロ】 →児童期における正しい「健康・体力向上意識」

- 困り感のある子を全職員で支える学校
- 教育活動のブラッシュアップに努める学校
- 非違行為を生まない職場風土を大切にする学校
- 次代を見据えた魅力ある職場としての学校

### 実生の輝きづくり

共に高まり会いながら成長する子どもたちを支える。全職員が生き方の「先生」である。  
・VUCA と呼ばれる時代を生き抜く子だからこそ、「春風のような心」「自信という見小魂」をはぐくみたい



### 豊かな心と確かな絆づくり

- ◆思いやりの心を持ち、自他のよさや違いを認め合う子
- ◆帰属意識を高め、自他のために考えて行動する子

- 互いを認め合い、建設的に支え合う学級づくり
  - 「温かい学級づくり」見附小プランに基づく、集団の発達段階に応じた学級経営とチーム支援
  - よりよい学校生活やあいさつの実践に向けた、子どもの主体性を生かした特別活動
  - 一人一人に寄り添う生活アンケートや教育相談

- 自他を尊重しながら考えて行動する心
  - 自分や周囲への安全意識を高める取組
  - 自分で考えて行動できる子を見据えた道徳教育

- いじめを許さない学級づくり
  - いじめ見逃しゼロ絆集会の取組

□Q-U 調査「満足型」の学級	80%以上
□地域の人に進んであいさつ	80%以上
□仲間から認められる	80%以上
□学級の仲間は協力している	80%以上
□仲間のために考えて行動する	80%以上
□命と安全に関する行動	80%以上

### 学力向上を目指す授業改善

- ◆自分の力を伸ばすとともに、仲間と一緒に伸びようとする子

- 確かな知識技能の習得と、それを支える学級づくり
  - UDの視点を基にした教室環境づくりと個別支援
  - 「見小授業モデル」「見小っ子スキル」の活用
- 「個別最適な学びと協働的な学び」を生かした授業実践
  - 職員の専門性を生かした主体的な職員研修
  - 日常の授業を常にブラッシュアップし、子どもたちによる深い学びを後押しする支援

- NRT 国語・算数 53 以上 (R5 国 53.6 算 53.2)
- 自ら課題を設定し、解決への見通しをもてる 80%以上
- 難しい課題も仲間と話し合って解決できる 80%以上
- 見小っ子スキルを意識して学習できている 90%以上

### 健やかな体と体力づくり

- ◆自分に合わせためあてを決め、達成に向けて運動や生活をする子

- めあてに向かって進んで運動する子を育成する。
  - 外遊びの推奨、遊び場の設定
  - 体育授業で高める力を意識した準備運動
  - めあてや課題意識を引き出す実践と振り返り
  - 児童会と連携した遊び方の紹介
  - 冬遊びのルール確認と室内遊びの紹介
- 就寝時刻、起床時刻を決めて生活する子
  - 生活習慣向上の取組（元気アップ週間）

- めあてに向かって運動に取り組む 90%以上
- めあて通りに寝ているか 70%以上

### 育成したい力

- ・互いの相違を認めながら対話して「折り合いをつける力」
- ・未来を切り拓くために「自分のよさを磨く力」

四つ葉運動  
あいさつ  
読書  
花と緑  
お手伝い  
ユネスコスクール  
SDGs



### 特別な教育的ニーズに応じた支援の充実

- 個別の指導計画
- 合理的配慮の提供
- チーム支援会議
- 特別支援教育に対する理解促進

151年目の新たな一歩を見小っ子と共に創ります！



### 共創郷育 ～地域に見小あり 見小に地域あり～

◆コミュニティ・スクール ～「地域に学び、地域でつながり、地域を創る学習」の展開～  
「見小の学校づくりを語る会」の中に、学校運営協議会、地域学校協働本部、学校評価部を位置付け、「地域が喜んで応援する学校」づくりを一体となって進める。  
「みつけ Job チャレ教育」の活動内容を見据えながら、学習活動を展開する。

### ◆愛育会との連携

自ら学び、進んで鍛え、共に伸びる愛育会

### 【見小の先達が積み上げた職場風土を、恩贈りする教職員】

- 子どもと向き合い、子どもの声を生かす
- 子どもの命と安全を最優先に行動する
- 互いに学び続け、研修の同僚となる（研修履歴の蓄積）
- 困っている教職員を支え、お互い様で助け合う
- 「やさし恩師の愛うけて」の歌詞に向き合う



体験活動を成功させる「完ぺき主義」の計画から、失敗も経験としてとらえる「修正主義」の実践へ